

### H30年度 学校教育自己診断

H30年度 学校教育自己診断	H30年度				H29年度			
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1. 生徒は市岡高校に入学して満足している	23.9	69.6	6.5	0.0	30.3	66.7	3.0	0.0
2. 学校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている	13.0	56.5	30.4	0.0	13.6	59.1	21.2	6.1
3. 学校の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある	6.7	62.2	31.1	0.0	13.6	66.7	18.2	0.0
4. 年間の学習指導計画について、各教科でよく話し合っている	30.4	39.1	30.4	0.0	24.2	53.0	22.7	0.0
5. 思考力を重視した問題解決的な学習指導を行っている	4.3	39.1	56.5	0.0	7.6	53.0	37.9	1.5
6. 学校内で他の教員の授業を見学する機会がよくある	2.2	15.2	58.7	23.9	1.5	22.7	50.0	25.8
7. 到達度の低い生徒に対する学習指導に、全校的課題として取り組んでいる	0.0	47.8	41.3	10.9	7.6	37.9	43.9	10.6
8. 学習意欲の高い生徒に対する学習指導に、全校的課題として取り組んでいる	4.3	52.2	37.0	6.5	16.7	48.5	27.3	4.5
9. カウンセリングマインドを意識した生徒指導を行っている	17.8	60.0	22.2	0.0	18.2	59.1	19.7	3.0
10. 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる	15.2	69.6	15.2	0.0	28.8	53.0	16.7	1.5
11. 生徒指導・支援において、保護者やスクールカウンセラーなどとの緊密な連携ができています	19.6	67.4	13.0	0.0	27.3	53.0	16.7	3.0
12. 生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	19.6	60.9	17.4	2.2	24.2	53.0	21.2	0.0
13. 学校行事を意義あるものにするために、工夫・改善を行っている	19.6	54.3	23.9	2.2	30.3	53.0	16.7	0.0
14. 教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールやモラルを学ぶ機会をつくるよう配慮している	6.5	65.2	26.1	2.2	12.1	57.6	25.8	4.5
15. 校長はめざす学校像・生徒像を明示し、学校をリードしている	21.7	54.3	21.7	2.2	21.2	60.6	16.7	1.5
16. 教職員が、めざす学校像・生徒像を共有して教育活動を行っている、また、具体的な取り組みへの評価を行い、次年度の計画に活かしている	2.2	43.5	50.0	4.3	12.1	47.0	30.3	7.6
17. 各分掌、学年団、委員会、プロジェクトチーム等が機能し、教育活動が円滑に進む組織運営がなされている	10.9	50.0	34.8	4.3	18.2	57.6	16.7	7.6
18. 教職員の適性・能力に応じた校内人事や分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある	6.5	67.4	21.7	4.3	12.1	59.1	22.7	4.5
19. 各分掌や学年間等の連携が円滑に行われ、生徒の指導に活かされている	8.7	45.7	41.3	4.3	15.2	48.5	31.8	4.5
20. 本校の教職員は、服務規律への自覚が高い	17.4	60.9	17.4	4.3	25.8	62.1	12.1	0.0
21. 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている	15.2	58.7	23.9	2.2	22.7	60.6	15.2	1.5
22. 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている	17.4	60.9	21.7	0.0	16.7	51.5	30.3	1.5
23. 業務量が多くストレスを感じる	10.9	37.0	39.1	13.0				